

会 議 録		令和7年2月13日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府上京警察署協議会（令和6年度第4回）		
開催日	令和7年1月20日（月曜日）		
時 間	午後4時から午後5時05分までの間（65分）		
場 所	京都府上京警察署 講堂		
出席者	山田会長、北川副会長、大橋委員、坂本委員、岡本委員、栗原委員 （欠席 出嶋委員、ハッカライネン委員、長谷川委員） 計6人		
	署長、副署長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、 広聴相談係長 計8人		
諮 問 事 項	1 犯罪情勢について 2 交通事故情勢について		
会 議 内 容	<p>1 署長挨拶 司会 副署長</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 協議 司会 会長</p> <p>(1) 諮問事項説明 犯罪情勢について～生活安全課長</p> <p>【委員】 特殊詐欺の被害を受けた方の年齢層は、やはり高齢者が多いのか。</p> <p>【警察】 令和6年12月末現在では、65歳以上の方が80パーセントを超えているような状態である。</p> <p>【委員】 上京区は65歳以上の高齢者が多く、65歳以上の人口の数がそのまま被害件数に正比例で出ているように感じられる。 件数というのは犯行件数なのか、被害を受けた方々の件数になるのか。</p> <p>【警察】 被害金額も含め、警察が認知した数である。犯行件数は実際どれだけあるか把握できない。</p> <p>【委員】 パソコンに、「クレジットカードに不都合が出ている。調査に必要なため、入力してください。」などと称して個人情報を聞いてくる誘いのメールが入ってくる。 私は削除しているが、実際そのような対応でよいのか。知らない人にそのように伝えてよいのか。その後、警察に情報として伝えるべきなのか。</p> <p>【警察】 警察に言っていれば、アドバイスができる。 被害に遭った方は、それらのメールを不審だと感じない。「これは怪しいな」</p>		

と気付かない点が問題である。誰かに相談をできるか、警察や家族、身の回りに相談できる環境があるのかということが必要である。相談できる環境がなければ作らなければならない。

メールが来れば警察に連絡するという癖づけが重要である。

【委員】 悪質メールは一見しただけでは見分けがつかないように巧妙に作られているように思う。

例えばメールアドレスに会社名が入り、文面では怪しいと思いつつも「アドレスに会社名があるから」と誤解を与えるようになっている。

最近、海外貨物の件で運送会社からのメールがあった。文面には実在する海外の貨物運送会社名が出てくる。

過去に海外の貨物運送会社を利用したことがある人物ならなおさら信用してしまう。

【警察】 不審メールについて自分で判断できる方は構わないが、不安に感じる方は情報提供していただきたい。私自身現職ではあるが、不審メールが来た際、同僚に確認している。

一般の方ならなおさら不安である。被害に遭わないように遠慮せずに相談してほしい。

(2) 諮問事項説明

交通事故情勢について～交通課長

【委員】 いわゆるママチャリで子供さんにはヘルメットをかぶらせてはいるが、本人はかぶっていない。

また、狭い道路での駐輪も多い。道路の角に狭い自転車を置かれてしまうと車の左折に困難を来す。

最近、ナビの誘導による影響と思われるが、細い道路に他府県の車が入ってくる。そこに自転車が通行する。現在路面に書かれている自転車誘導帯は、一方通行に関わりなく道路の両側に書かれている。それに従って自転車が通行すると、対面の状態になるケースがある。

自転車通行帯は法律の規制ではないのであれば車の一方通行の方だけで良いと思う。

ハードの面での工夫が必要である。

【委員】 今回のように最終的に年度を振り返ると数字で表されることになる。

上京署も頑張って交通死亡者を出さないように努力されたが死亡事故が発生してしまった。しかし、街中ではお年寄りなどがパチンコ屋さんやスーパーの前の歩行者横断禁止の標識のある道路を横断しているのをよく見掛ける。

今後、歩行者や自転車の不注意により事故を起こした場合、歩行者が悪いという数字も作られるべきだと思う。安全運転をしている方が歩行者側の落ち度で事故になってしまう事故もあるはずだ。

運転手として事故に対する処分はあつてしかるべきではあるが、広報活動等でPRする際、歩行者が渡ってはいけないところを渡って事故になったと

会 議
内 容

いう事実も伝え、事故防止に対して強く認識してほしいと思う。

【委員】地域交通安全活動推進委員として交通安全の勉強をさせてもらっている。

この活動の成果は、時間はかかるが、子供たちが成長する過程で必ず伝わり、これから事故は減っていくだろうと期待している。

幼稚園や学校に子供を通わせている若いお母様方は、仕事を抱えながらの育児は大変だと思う。そのような方に対しての啓発を続けることは大事だと思っている。継続は力であると確信している。今後も命の続く限り頑張っていきたいと思う。

以上

第4回京都府上京警察署協議会の開催状況

